

薬事委員会での薬剤部の役割

薬剤部 能澤 真希子



薬剤部は、薬事委員会での事務局的立場となっています。

薬事委員会で主に審議される議題は、新規採用医薬品についてです。

今まで当院で使用した事が無い医薬品を使用したい時に、医師が薬事委員会に申請します。薬剤部は、この申請された医薬品が当院で適正に使用可能か、審議に必要な資料を準備しています。

申請された医薬品は、職員または患者自身が使用しやすいか、内服薬であれば飲み込みやすいか（苦かったり、大きすぎたりしないか）、外用薬であれば使い方が難しくないか等々、審議中に生まれる疑問を解消するための資料を準備します。また当院採用中の医薬品で同じ薬効のものがあれば、その違いが分かる資料も作っています。

最近は様々な影響を受け、医薬品の供給が滞ることも多く、潤沢に流通しているメーカー選びも審議内容の一つとなっております。

当委員会は、医薬品の副作用についても報告する場となっています。その副作用が、厚労省に報告すべき重大な副作用である場合は、報告のお手伝いをします。これは、副作用による患者への不利益を最小限にするための方法でもあります。

主な役割を紹介させていただきましたが、その目的は、治療にあたる医師がより良い治療薬を安全に使用出来る様に、またその医薬品を扱う職員が安全に使用出来る様に、そして何よりも患者がより良い治療を安心して受ける事が出来る様にすることです。



出典：独立行政法人医薬品医療機器総合機構「医薬品副作用被害救済制度」、
「PMDA医療安全情報No.65」、小野薬品工業株式会社「安全性速報 21-01号」より引用

【富山ろうさい病院 市民公開講座・生活習慣病教室】のお知らせ

場所：富山ろうさい病院 2階採血室待合フロア

《院内公開講座》

日 時 令和5年11月29日(水)
14時00分～14時45分
テーマ 「誤嚥性肺炎予防！！
お口の中のセルフケア(仮)」
講師 摂食・嚥下障害認定看護師
楠 さやか

《生活習慣病教室》

※2階外来受付にお声掛けください。
日 時 令和5年12月27日(水)
14時00分～15時00分
テーマ 「糖尿病基本編(神経障害・フットケア)について」
講師 糖尿病・内分泌内科部長 村上 史峰他
当院看護師、臨床検査技師